

# HiKOKI

## 取扱説明書

### 集じん機

8 L RP 80YB(S)〔乾湿両用〕

8 L RP 80YD(S)〔乾式〕

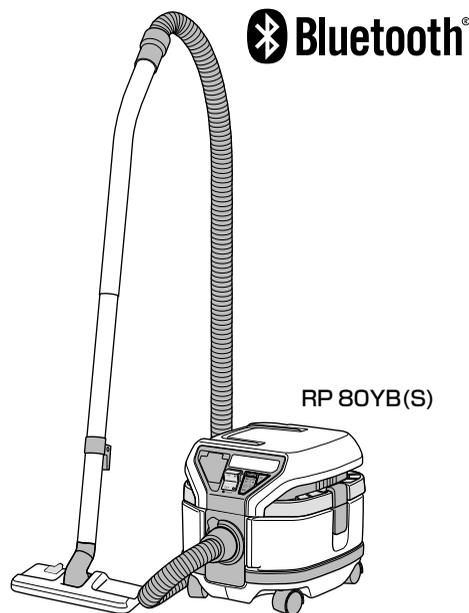
#### 用途

- 作業場、その他の一般清掃
- 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん

〔乾湿両用のみ〕

- 床にこぼした水などの液体吸収

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに	集じん機の安全上のご注意……………	1
	本製品の使用上のご注意……………	3
	Bluetooth 無線技術について ……	5
	各部の名称……………	6
	仕様……………	7
	標準付属品……………	8
別売部品……………	9	

使い方	ご使用前の準備・点検……………	10
	フロート機構……………	12
	ポリ袋の取付け……………	13
	フィルタの取付け・確認……………	15
	ホースの接続……………	17
	スイッチの操作……………	19
	AC 連動用コンセント……………	21
	無線連動機能について……………	23
	LED ライトの使い方 ……	26
	集じんする……………	27
	フィルタのちり落とし……………	31
	紙フィルタ(別売部品)の取付け…	32
	粉じん(水)を捨てる ……	33

その他	運搬・収納……………	35
	保守・点検……………	37
	故障診断……………	40
	ご修理のときは……………	裏表紙

## **⚠警告**、**⚠注意**、**注** の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### **⚠警告**

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**  
表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **作業に合った集じん機を使用してください。**  
指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ **コードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引いてコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。  
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

## 警告

- ⑦ **集じん機は、注意深く手入れをしてください。**
  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードを点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ **次の場合は、集じん機のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。
- ⑨ **不用意な始動は避けてください。**
  - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩ **油断しないで注意して作業を行ってください。**
  - 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など注意して慎重に作業してください。
  - 集じん機からはなれて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹き出し、発煙など）に注意しながら作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑪ **損傷がないか点検してください。**
  - 使用前に、機体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した機体やその他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- ⑫ **集じん機の修理は、専門店で依頼してください。**
  - この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。  
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、本製品について、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠警告

- ① **アース（接地）してください。**  
故障や漏電のとき、感電の恐れがあります。（詳細は P.10「アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」を参照してください。）
- ② **AC連動コンセントに接続できる電動工具の消費電力は強運転時 100～285 W、中運転時 100～760 W、弱運転時 100～1,050 W までです。**
  - 上記を超える消費電力の電動工具を AC 連動コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。
  - AC/DC アダプタ (ET 36A) を接続し、電動工具を AC 連動コンセントで使用する場合は弱運転で使用してください。
- ③ **定格 15 A 以上のコンセントを使用してください。**  
他の器具と併用する場合、下記 (1)～(3) の合計がコンセントの定格電流を超えないようにしてください。異常発熱による火災の原因になります。
  - (1) 本製品の定格電流
  - (2) AC 連動コンセントに接続している電動工具の定格電流
  - (3) コンセントを併用する器具の定格電流
- ④ **以下の物は吸い込まないでください。**
  - 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
  - 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
  - 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
  - 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
  - 木片、金属、石、ひもなど。
  - セメント粉・トナーなど固化する物や、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
  - 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
  - 水などの液体。（乾式：RP 80YD (S)、RP 150YD (S) の場合）  
火災やけがの原因になります。
- ⑤ **フィルタは正しくセットして使用してください。**  
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。  
モーターが故障する原因になります。
- ⑥ **機体や電源プラグ、AC 連動コンセントに水や油などをかけたりしないでください。**  
この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

## 警告

- ⑦ 機体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。  
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター故障などの原因になります。
- ⑧ フロートが作動したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。  
(フロート機構付きは乾湿両用：RP 80YB(S)、RP 150YB(S)のみ)  
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑨ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。  
感電や故障の原因になります。
- ⑩ 転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。  
アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
- ⑭ この機体は屋内用です。屋外で使用しないでください。  
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
- ⑮ 本製品の使用周波数帯では医療用電気機器や産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線（免許を要する無線局）および特定省電力無線（免許を要しない無線局）などが運用されています。これらの場所では電波干渉の恐れがありますので本製品を使用しないでください。
- ⑯ 無線連動の有効距離は約10mです。ただし、電動工具と本製品の間に障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
- ⑰ 連動機能を使用する場合は、使用前に本製品と電動工具が連動することを確認してください。  
連動できない状態で使用すると、電動工具からもれ出した粉じんを、作業者が吸い込む恐れがあります。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# Bluetooth® 無線技術について

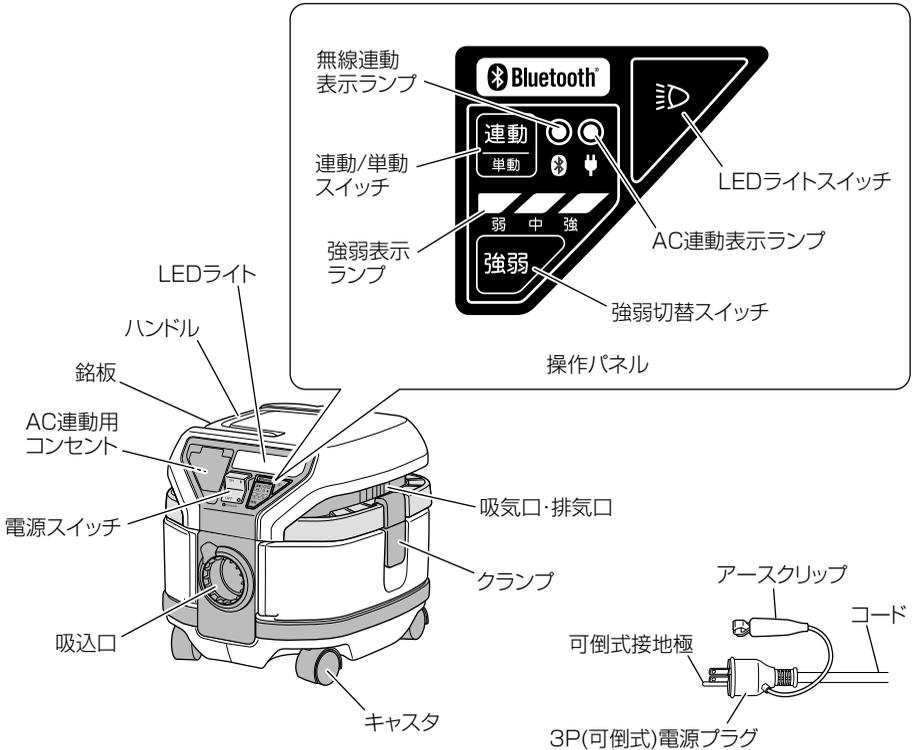
Bluetooth® のマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC. の登録商標で、ライセンスに基づき使用しています。

本製品に搭載されている Bluetooth 機器は 2.4 GHz 帯の周波数を使用しています。このため、以下の注意事項を良く読んで、正しく使用してください。

- 本製品は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局設備として、技術基準適合証明を受けていますので、使用に当たり無線局の免許は必要ありません。
- 本製品は技術基準適合証明を受けていますので、絶対に分解や改造をしないでください。  
また、本製品に貼ってある認証ラベル (㊚ マーク記載) をはがさないでください。  
法律で罰せられる場合があります。
- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線 LAN、他の Bluetooth 機器などは同じ周波数帯を使用しています。これらの機器と相互に電波干渉しないよう、はなして使用してください。  
電波が届かない場合があります。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。
- Bluetooth による通信によって発生した損害については、本製品の不具合を除き、弊社では一切の責任を負いません。
- ペースメーカー、その他医療機器をご使用される方は、当該の医療用電気機器メーカーまたは医療機関や販売業者に、電波による影響について確認してください。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。  
本製品からの電波が、自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。
- 混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しないでください。  
本製品からの電波が、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

# 各部の名称

【イラストは RP 80YB (S) です】



# 仕 様

形 名	RP 80YB (S)	RP 150YB (S)	RP 80YD (S)	RP 150YD (S)	
使用電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V				
消費電力	1,140 W				
モーター	単相直巻整流子モーター				
絶縁構造	一重絶縁				
用途	乾湿両用		乾式専用		
集じん容量	8 L	15 L	8 L	15 L	
吸水容量 <sup>*1</sup>	6 L	12 L	—		
フィルタの種類	布フィルタ		粉じん用フィルタ (プレフィルタ付)		
電 流	強 12.0 A		中 7.0 A	弱 3.9 A	
AC 連動用コンセント	強 100 ~ 285 W 中 100 ~ 760 W 弱 100 ~ 1,050 W (接続できる電動工具の消費電力)				
最大風量	強 3.5 m <sup>3</sup> /min 中 1.8 m <sup>3</sup> /min 弱 1.1 m <sup>3</sup> /min				
最大真空度	強 22.0 kPa { 2,240 mm 水柱 } 中 7.0 kPa { 710 mm 水柱 } 弱 2.7 kPa { 275 mm 水柱 }				
吸込仕事率 <sup>*2</sup>	300 W		220 W		
無線連動機能 <sup>*3</sup>	あり				
Bluetooth	Bluetooth 標準規格 Ver. 5.0 使用周波数帯域：2.4 GHz 帯 (2.402 ~ 2.480 GHz)				
ホース (内径×長さ)	φ 38 mm × 2 m		φ 28 mm × 5 m		
外径寸法	幅	331 mm	334 mm	331 mm	334 mm
	高さ	334 mm	400 mm	334 mm	400 mm
	奥行	364 mm	366 mm	364 mm	366 mm
質 量 <sup>*4</sup>	7.4 kg	7.9 kg	7.8 kg	8.3 kg	
コ ー ド	アースクリップ付 3 心ケーブル 5 m				

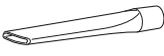
※1：機体を水平に設置した静水の状態、および布フィルタが乾いている状態での容量

※2：標準付属品のホースおよび各パイプを接続した場合の数値

※3：Bluetooth によるコードレス電動工具との無線連動機能

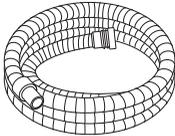
※4：コード、標準付属品を除く

# 標準付属品

部 品 名	個数	RP 80YB (S) RP 150YB (S)	RP 80YD (S) RP 150YD (S)
① ホース (内径φ38 × 長さ2 m) (一般清掃用)	 1本	○	×
② ホース (内径φ28 × 長さ5 m) (電動工具との接続用)	 1本	×	○
③ パイプホルダ	 1個	○	×
④ ストレートパイプ	 1本	○	×
⑤ ベンドパイプ	 1本	○	×
⑥ 床用吸口	 1個	○	×
⑦ すき間用吸口	 1個	○	×
⑧ ポリ袋	 5枚	○	○
⑨ ジョイント (A)	 1個	○	○
⑩ ジョイント (B)	 1個	○	○
⑪ ジョイント (C)	 1個	○	×
⑫ アダプタ (ゴム)	 1個	○	○
⑬ D 25 アダプタ (38 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)	 1個	×	○
⑭ D 25 アダプタ (26 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)	 1個	×	○
⑮ ホースバンド	 5個	×	○
⑯ D 38 アダプタ (38 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)	 1個	○	×
⑰ D 38 アダプタ (26 mm 用) (マキタ電動工具との接続用)	 1個	○	×

# 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

最新の情報は、弊社ホームページ、または総合カタログを参照してください。

部 品 名	用 途
紙フィルタ (5枚入り) 	紙フィルタごと捨てることで、清潔にごみ捨てができます。 水は吸引できません。 RP 80YB (S)、RP 150YB (S) でサイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする際は、布フィルタと併用します。
ナイロンフィルタ 	水、湿った粉じんを吸引するとき使用します。 (乾湿両用：RP 80YB (S)、RP 150YB (S) のみ使用可)
ホース (内径φ38 × 長さ5 m) 	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。 電動工具と接続しても使用できます。
ホースカバーセット 	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引っ掛かりにくくします。
ホースバンド (呼径：φ38、φ60、φ75) 	集じんアダプタを使用する場合、機体のアダプタと接続するため使用します。
各種電動工具との接続部品	集じんアダプタやジョイント等については、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご覧ください。

# ご使用前の準備・点検

## ●アース（接地）、漏電しゃ断器の確認

### ⚠警告

アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対に取付けないでください。

使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

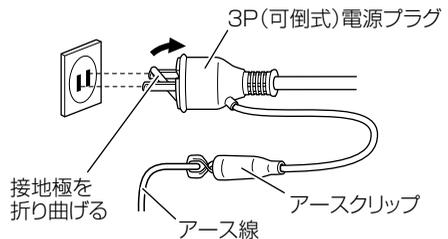
**注** ●プラグのアースクリップや接地極、アース線は、異常のないことを確認してから使用してください。

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、プラグの接地極またはアースクリップと機体の金属外枠との間の導通を確認してください。

●地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店に相談してください。

アースクリップ付 3P（可倒式）電源プラグはアース付（3ピン）コンセントに直接さし込むことで、アースクリップによるアースは不要です。

アース極のない2極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。



## ●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さと、最大の長さです。

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルを使用してください。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> ) (導体公称断面積)	最大の長さ (m)
3.5	15
5.5	25

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

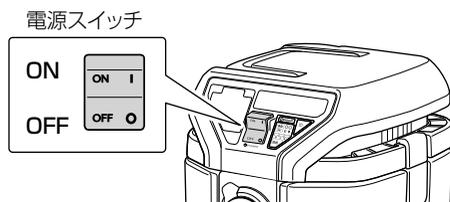
## ●使用電源の確認

- 銘板に表示してある電源で使用してください。  
表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
- 直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使わないでください。  
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

## ●電源スイッチ「OFF」の確認

電源スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不用意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

電源スイッチは、「ON」側を押すと運転し、「OFF」側に戻すと停止します。  
電源プラグさし込み時は、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。



## ●コンセントの確認

コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。  
修理せずにそのまま使用すると、過熱して事故の原因になります。

# フロート機構

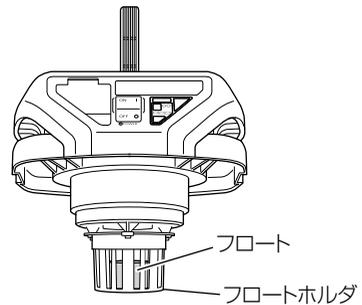
RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合のみ

## 警告

- **フロートが働いたままで、運転を続けしないでください。**  
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- **洗剤など発泡性の液体や泡を吸い込ませないでください。**  
フロートが働く前に排気口から泡が吹き出します。そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この機体には、一定量以上の水を吸い込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。

フロートが作動して、水を吸い込まないときは、速やかにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、タンク内の水を捨ててください。



# ポリ袋の取付け (ポリ袋なしでも使用できます)

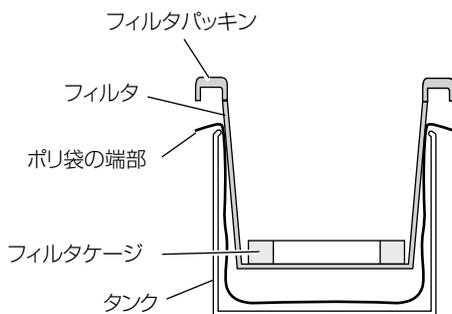
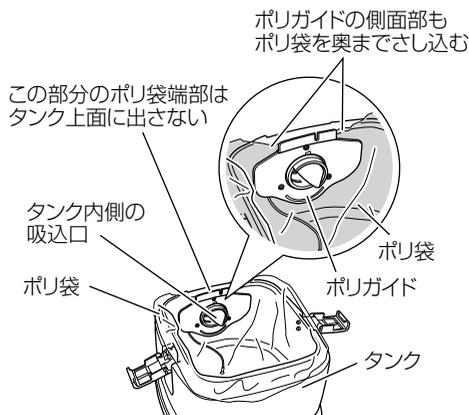
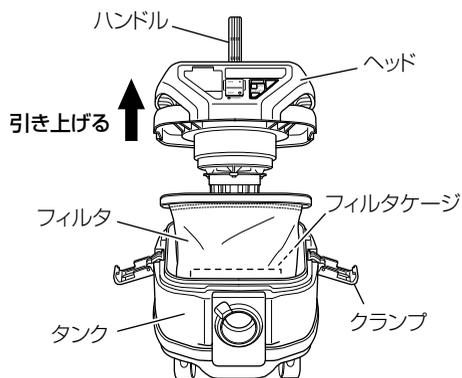
## RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合

**1** クランプ (2 個) をはずし、ハンドルを持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。  
タンク内のフィルタ、フィルタケージを抜き取ってください。

**2** タンク内側とポリガイドの間に、付属のポリ袋をさし込みます。  
まず下側にさし込み、次に側面の順にさし込んでください。

**3** ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。  
P.15「フィルタの取付け・確認」の手順に従い、フィルタ、フィルタケージを入れてください。  
このとき、フィルタパッキングがポリ袋をしっかりと挟み込むように取付けてください。

- 注**
- 市販品のポリ袋は、45 L (幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。  
ただし厚さ 0.04 mm 以上の物を使用してください。
  - 吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください (右図参照)。  
タンク上面からポリ袋の端部をすべて出すと、吸込口がふさがれ、集じできません。



## RP 80YD(S)、RP 150YD(S) の場合

**1** クランプ(2個)をはずし、ハンドルを持ってヘッドを引き上げ、タンクから取りはずします。  
タンク内の粉じん用フィルタ、プレフィルタを抜き取ってください。

**2** タンク内側とポリガイドの間に、付属のポリ袋をさし込みます。  
まず下側にさし込み、次に側面の順にさし込んでください。

**3** ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。

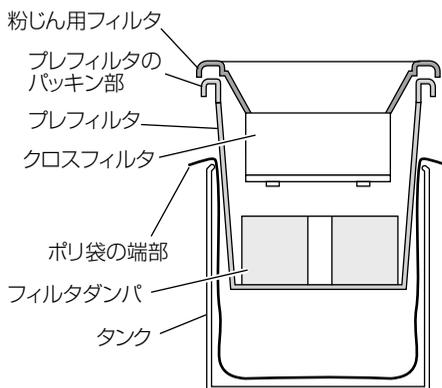
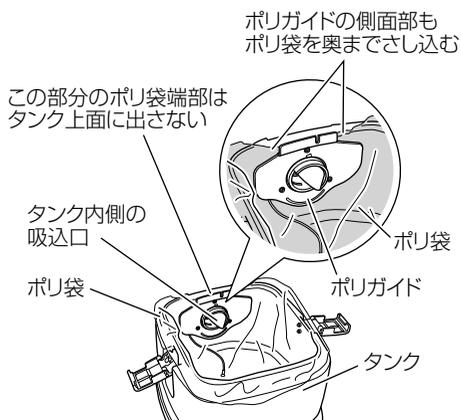
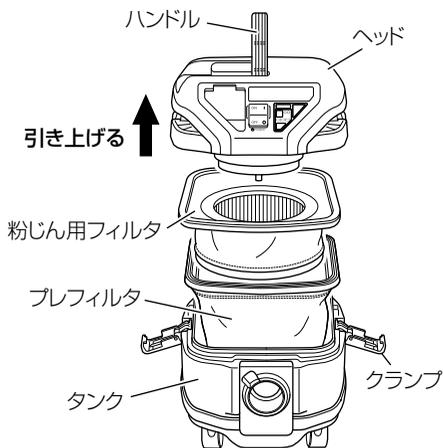
P.15「フィルタの取付け・確認」の手順に従い、プレフィルタ、粉じん用フィルタを入れてください。

このとき、プレフィルタのパッキン部がポリ袋をしっかりと挟み込むようにプレフィルタを取付けてください。

**注** •市販品のポリ袋は、45 L (幅 650 mm × 深さ 800 mm) が使用可能です。  
ただし厚さ 0.04 mm 以上の物を使用してください。

•吸込口部のポリ袋の端部は、タンク上面から出さないでください(右図参照)。

タンク上面からポリ袋の端部をすべて出すと、吸込口がふさがれ、集じできません。



# フィルタの取付け・確認

## ⚠ 警告

フィルタは取付けてください。  
モーターが故障する原因になります。

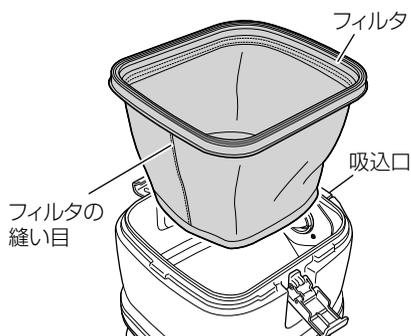
### RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合

## ⚠ 警告

- サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする際は、紙フィルタ（別売部品）を使用してください。詳細は、P.32「紙フィルタの取付け」を参照してください。
- 付属の布フィルタは乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも取付けてください。
- 付属の布フィルタで繰り返し吸水をすると、吸水量が著しく低下します。繰り返し大量の吸水をする場合は、ナイロンフィルタ（別売部品）を使用してください。なお、ナイロンフィルタ（別売部品）を使用するときは、付属の布フィルタは取付けしないでください。

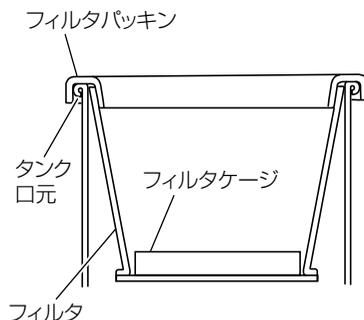
布フィルタや、ナイロンフィルタ（別売部品）は以下のように取付けます。

- 1 フィルタの縫い目を吸込口の反対側になるように組み込みます。



- 2 フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

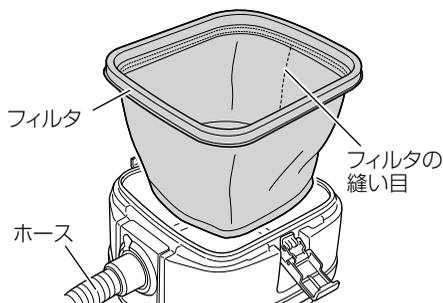
- 3 フィルタの底部にフィルタケースが入っていることを確認してください。



## RP 80YD(S)、RP 150YD(S) の場合

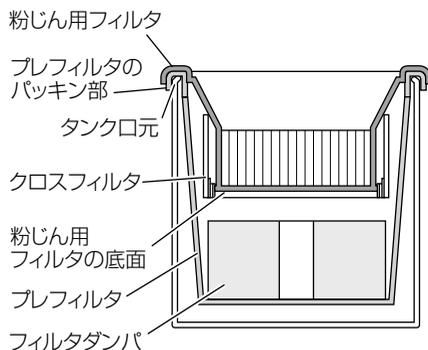
**注** RP 80YD(S)、RP 150YD(S) の場合、液体の吸水ができません。

**1** フィルタの縫い目をホースの反対側になるように組み込みます。

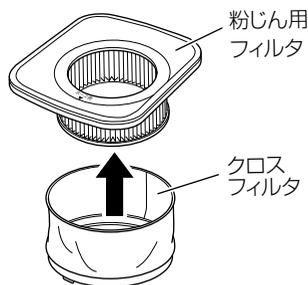


**2** プレフィルタのパッキン部がタンク口元にかかっていることを確認してください。

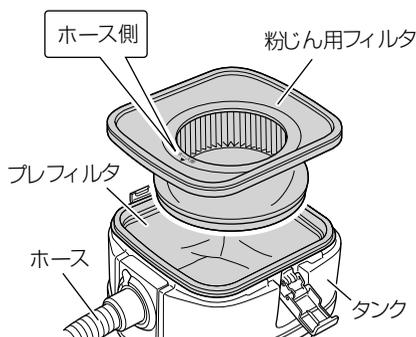
次にプレフィルタ底にフィルタダンパを入れてください。



**3** 粉じん用フィルタにクロスフィルタを表示された矢印方向からさし込み、取付けてください。



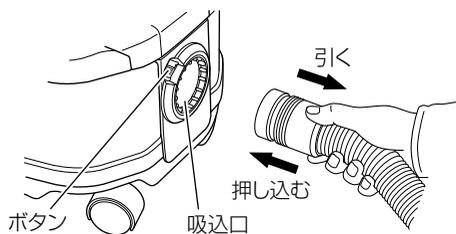
**4** 「ホース側」の表示に方向を合わせて、粉じん用フィルタを入れます。



# ホースの接続

## 本体との接続

付属のホースをタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはさしてください。



## 床用吸口との接続

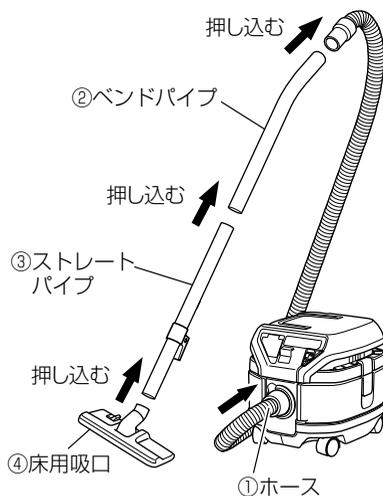
掃除機として一般清掃作業する場合は、ホースに付属のベンドパイプ、ストレートパイプ、床用吸口を接続して使用してください。

下記の番号順に、矢印方向に押し込んで接続します。

- ① ホース
- ② ベンドパイプ
- ③ ストレートパイプ
- ④ 床用吸口

用途に応じて、すき間用吸口を取付けることもできます。

**注** RP 80YD(S)、RP 150YD(S)では、ホース(内径 $\phi 38 \times 2$ m)、ベンドパイプ、ストレートパイプ、床用吸口、すき間用吸口は別売部品になります。

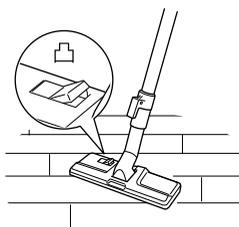


## 床用吸口の使い方

- 床用吸口は、使う場所に合わせてモードを切り替えてお使いください。
- フローリングやたたみなどでお使いの場合は、フロアモードでお使いください(底面のブラシが凸)。
- じゅうたん、カーペットなどでお使いの場合は、じゅうたんモードでお使いください(底面のブラシが凹)。

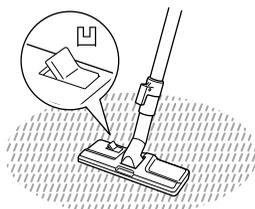
### 【フロアモード】

ブラシ凸  
(出張り)



### 【じゅうたんモード】

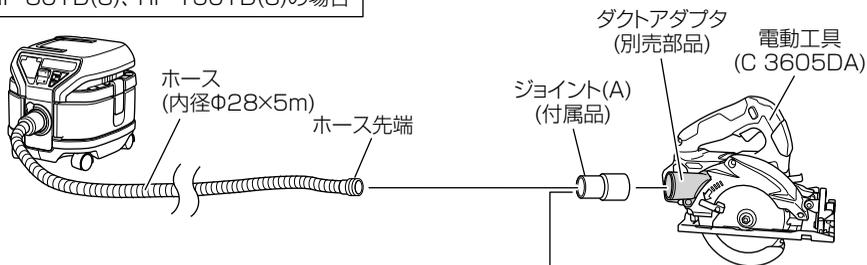
ブラシ凹  
(へこみ)



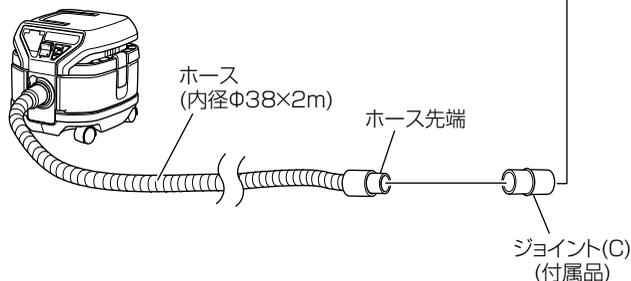
## 電動工具との接続

付属のジョイントやアダプタで、ホースを電動工具へ接続します。  
接続する電動工具によって、さらに別売部品の集じんアダプタやジョイント等が必要となります。詳しくは、別紙「集じん機と各種電動工具の接続」をご覧ください。

RP 80YD(S)、RP 150YD(S)の場合



RP 80YB(S)、RP 150YB(S)の場合

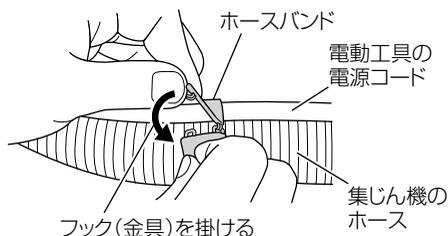


## ● ホースバンドの取付け

RP 80YD(S)、RP 150YD(S)の場合のみ

電動工具と接続して使用する場合は、ホースと電動工具の電源コードがからまないよう、付属のホースバンドで固定してください。

約 1 m の間隔で結束してください。



# スイッチの操作

## 電動工具と連動して運転する

- ① 電源スイッチを「ON」側に押し、本製品の電源が入ります。
- ② 連動 / 単動スイッチを押して、「無線連動」または「AC 連動」モードに設定します。

### 〈無線連動〉

無線連動表示ランプ

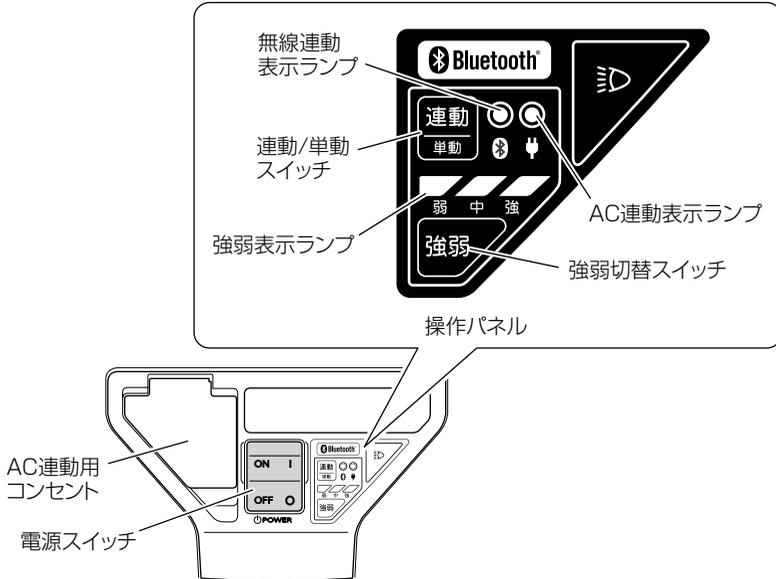
「点滅 (青)」：接続相手を検索中

「点灯 (青)」：接続完了し、連動可能

### 〈AC 連動〉

AC 動表示ランプ

「点灯 (赤)」：連動可能



モード	単動	無線連動	AC連動
ランプの状態		点滅(青)                      →	点灯(赤)
	無線連動表示ランプ：消灯 AC 連動表示ランプ：消灯	無線連動表示ランプ：点滅→点灯 AC 連動表示ランプ：消灯	無線連動表示ランプ：消灯 AC 連動表示ランプ：点灯

- ③ 強弱切替スイッチを押して、吸込力を切り替えます。  
接続する電動工具の消費電力に合わせて「強」「中」「弱」を選択します。  
(強弱レベルは、強弱表示ランプのLED(赤)が点灯して表示)
- ④ 接続した電動工具のスイッチの「ON」/「OFF」操作で、この機体も連動\*して運転・停止します。  
なお、電動工具のスイッチを切った後も、ホース内にたまった粉じんを吸い込むために機体は数秒間運転してから停止します。
- ※ 本製品と電動工具の無線連動については、P.23「無線連動機能について」を参照してください。

### 単動で運転する

- ① 電源スイッチを「ON」側に押すと本製品の電源が入ります。
- ② 連動/単動スイッチを押して、「単動」を選択します。  
無線連動表示ランプ：消灯  
AC 連動表示ランプ：消灯
- ③ 強弱切替スイッチを押し、用途に合わせて「強」「中」「弱」を選択します。
- ④ 停止させるときは、電源スイッチを「OFF」側に戻します。

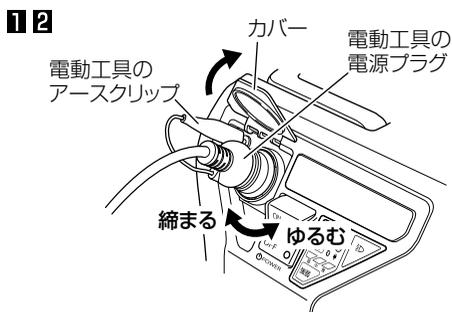
**注** 本製品は、メモリー機能を備えています。一度「OFF」側にした後、次に電源スイッチを「ON」にすると、連動/単動モード、および吸込力は電源スイッチを「OFF」にしたときの状態で復帰します。

# AC 連動用コンセント

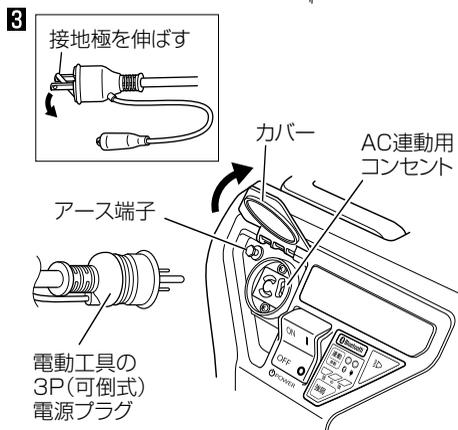
## ⚠ 警告

- AC 連動用コンセントには、この機体の電源スイッチ、連動 / 単動スイッチのモードにかかわらず、電圧がかかります。電動工具の電源プラグを AC 連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。電動工具のスイッチが入っているのを知らずに電源プラグを AC 連動用コンセントにさし込むと不用意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。
- 下記の消費電力を超える電動工具は、この機体の AC 連動用コンセントに接続しないでください。  
定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。  
この機体を「強」運転する場合… 電動工具の消費電力 100 ~ 285 W まで  
この機体を「中」運転する場合… 電動工具の消費電力 100 ~ 760 W まで  
この機体を「弱」運転する場合… 電動工具の消費電力 100 ~ 1,050 W まで  
AC/DC アダプタ (ET 36A) を接続し、電動工具を AC 連動コンセントで使用する場合も弱運転で使用してください。
- 電動工具が一重絶縁の場合は、電動工具のアースクリップをアース端子に接続してください。(アースクリップ付 2P 電源プラグの場合)。  
アースクリップをアース端子に接続しないと感電の恐れがあります。
- 電源プラグに抜け止めがかかっている状態で、コードを引かないでください。  
電源プラグを左に回し、抜け止めをはずしてから電源プラグを抜き取ってください。

- 1** カバーを持ち上げ、電動工具の電源プラグをAC連動用コンセントにさし込み、右に回します。回らなくなった所で、電源プラグの抜け止めがかかります。電源プラグを抜く場合は、左に回してから引き抜いてください。



- 2** 電動工具が一重絶縁品のアースクリップ付2P電源プラグの場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。



- 注** AC連動用コンセントに巻線トランスが組み込まれている製品を接続すると、機体が約5秒間連動しますが、故障ではありません。

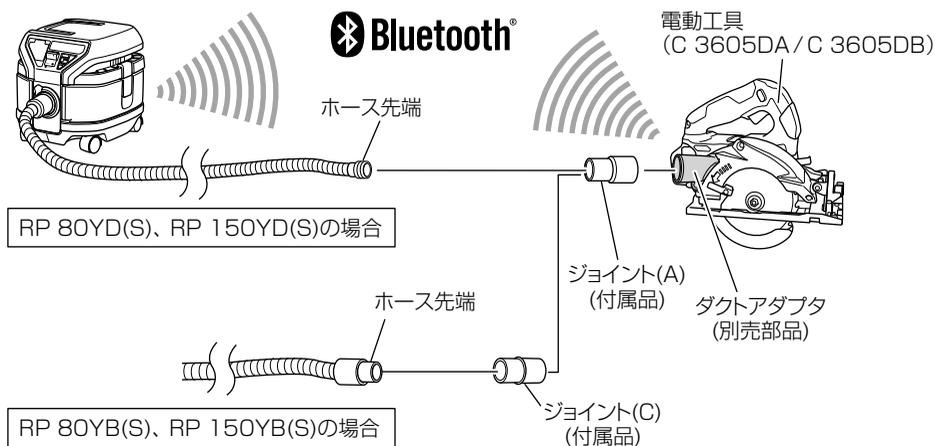
# 無線連動機能について

本製品を「無線連動」モードにすることで、無線連動機能を搭載した電動工具とBluetoothによる無線接続（ペアリング）が可能となり、電動工具のスイッチの「ON」/「OFF」操作で、本製品を運転・停止させることができます。

電動工具側の操作方法については、電動工具の取扱説明書を参照してください。

また、無線連動機能がない電動工具でも、無線連動機能付きのMV電池を使用すれば、本製品を無線連動操作できます。（MV電池対応の電動工具に限ります。）

（使用できる機種や仕様は、最新のカatalogを参照またはお買い求めの販売店に問い合わせください。）



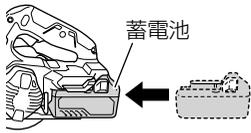
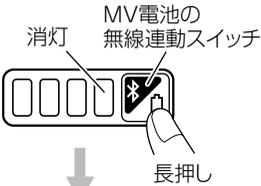
**注** • 同時に 2 台以上の機器と接続することはできません。

- 電動工具のスイッチを入れてから、本製品が起動するまで約 0.5 秒かかります。また「OFF」にしたときは、ホース内のごみを吸い込むため本製品は数秒遅れて停止します。
- 接続相手を検索中（無線連動表示ランプ点滅中）に電動工具のスイッチを引くと、電動工具のモーターは起動します。  
（検索中は本製品のモーターは起動しません）  
接続が完了（ランプ点灯）次第、本製品が起動します。
- 本製品の同時接続可能数は 1 台です。  
また、接続の際は 1 セットずつ行ってください。  
複数台を同時に行うと正しく接続できない場合があります。
- 無線連動の接続有効距離は約 10 m です。  
本製品と電動工具の間に障害物などがあると、有効距離が短くなる場合があります。
- 接続が切れると、本製品は検索状態に戻ります。

## ●無線連動する

無線連動機能を搭載した電動工具と連動して使用する際には、作業開始時に Bluetooth 通信を行うために接続を行います。

必ず本製品と電動工具をホースでつないでから、下記の手順で接続してください。  
(操作は、本製品と電動工具のどちらが先でもかまいません。)

集じん機本体側	連動する電動工具側	
	無線連動機能対応電動工具	無線通信機能搭載 MV 電池付コードレス電動工具
<p>① 電源スイッチを ON</p> <p>電源スイッチ</p> 	<p>① スイッチを一度引く</p> <p>スイッチ</p> 	<p>① MV 電池を電動工具へ取付ける。</p> <p>蓄電池</p> 
<p>② 検索開始</p> <p>単動</p> <p>消灯</p>  <p>↓</p> <p>点滅</p> <p>検索中</p> 	<p>② 検索開始</p> <p>電動工具の無線連動スイッチ</p> <p>消灯</p>  <p>↓</p> <p>点滅</p> <p>検索中</p> 	<p>② 検索開始</p> <p>無線連動スイッチを長押し</p> <p>消灯</p> <p>MV電池の無線連動スイッチ</p> <p>長押し</p>  <p>↓</p> <p>青色点滅</p> <p>検索中</p> 
<p>③ 接続完了**</p> <p>無線連動可能</p> <p>点灯</p> 	<p>③ 接続完了**</p> <p>点灯</p> <p>連動可能</p> 	<p>③ 接続完了**</p> <p>青色点灯</p> <p>連動可能</p> 

※ 両方が検索中 (ランプ点滅) になってから、接続完了 (ランプ点灯) まで約 1 ~ 3 秒かかります (距離や障害物などにより変化します)。

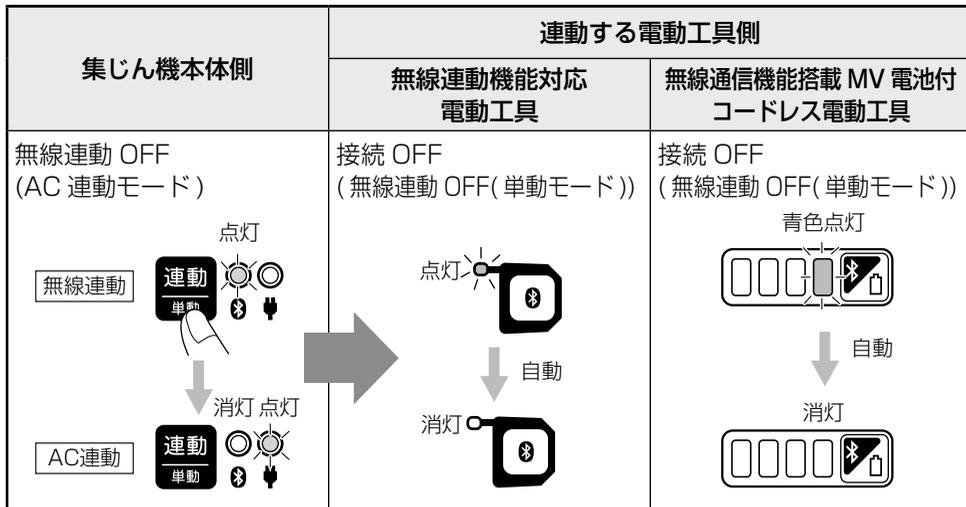
**注** MV 電池の無線連動スイッチは電池残量表示スイッチを兼ねています。そのため無線連動接続の際、一瞬残量表示ランプ (緑) が点灯しますが、接続に影響ありません。

## ● 無線連動を OFF にする

### 本機の操作で無線連動を OFF にする場合

本製品の連動 / 単動スイッチを押すと、無線連動から AC 連動モードになり、無線連動接続が切れます。

接続が切れると、電動工具の連動モードは自動的に OFF になります。

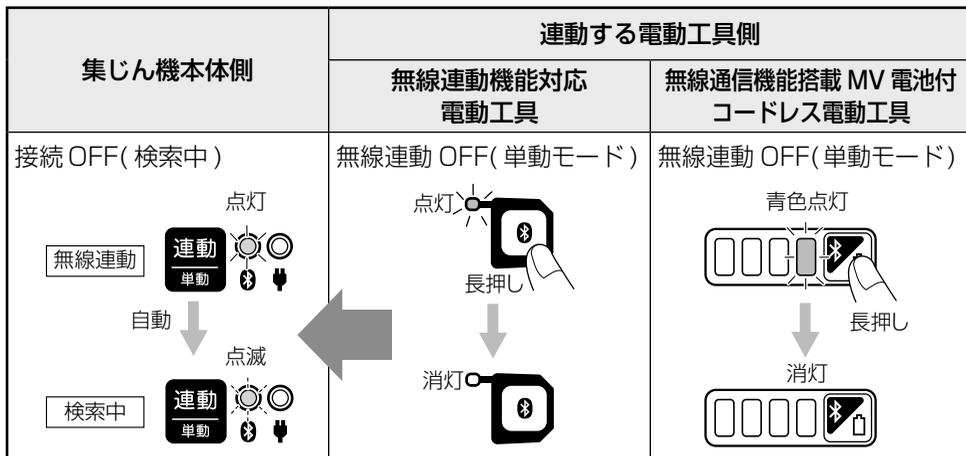


※ 連動 / 単動スイッチをさらに押すと、AC 連動から単動モードに戻ります。

※ 本製品の電源を切ることで、無線連動を OFF にすることができます。

### 電動工具の操作で無線連動を OFF にする場合

電動工具の無線連動スイッチを長押しすると電動工具は単動モードになり、接続が切れます。接続が切れると、本製品は検索中に切り替わります。



# LED ライトの使い方

電源スイッチが「ON」側の状態で、LED ライトスイッチを押すとLED ライトが点灯・消灯します。

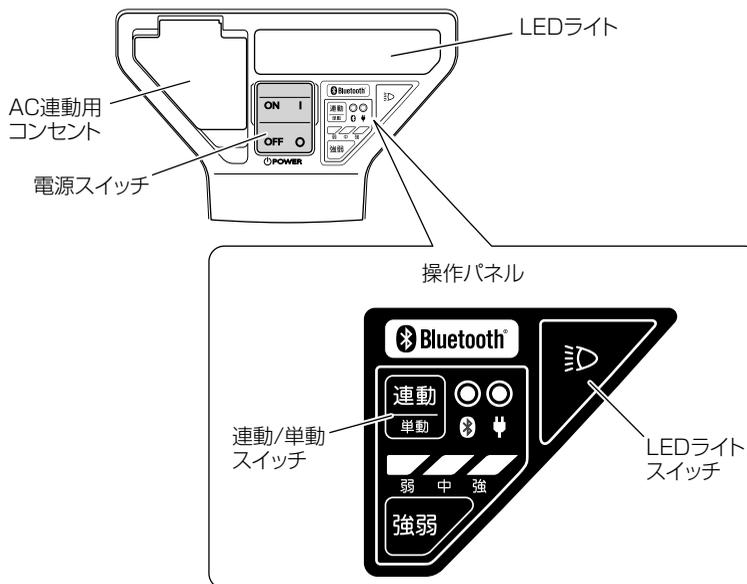
また、本製品が停止状態（無線連動・AC 連動モード）でもLED ライトスイッチの操作が可能です。

**注** 本製品のメモリー機能にはLED ライトは含まれません。

一度「OFF」側にした後、次に電源スイッチを「ON」にしても、LED ライトは消灯しています。

## ⚠ 注意

LED ライトをのぞきこんで、直接ライトの光を目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。



# 集じんする

## ⚠ 警告

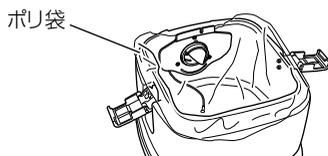
- フィルタは取付けてください。  
モーター損傷の原因になります。
  - ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。  
急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
  - 下記の消費電力を超える電動工具は、この機体の AC 連動用コンセントに接続しないでください。  
定格以上の電流が流れ、連動回路や電源プラグなどの故障やけがの原因になります。  
また、この機体の電源プラグを接続しているコンセントとは別のコンセントに接続してください。
- この機体を「強」運転する場合…  
電動工具の消費電力 100 ~ 285 W まで
- この機体を「中」運転する場合…  
電動工具の消費電力 100 ~ 760 W まで
- この機体を「弱」運転する場合…  
電動工具の消費電力 100 ~ 1,050 W まで
- 粉じんの多い作業では、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

**注** ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引いて集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。  
ホースの変形などの原因になります。

## 1 ポリ袋を取付ける

必要に応じ、ポリ袋を取付けてください。

(P.13「ポリ袋の取付け」参照)



## 2 フィルタを確認する

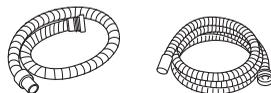
タンク内に正しく取付けてあることを確認します。

(P.15「フィルタの取付け・確認」参照)

## 3 用途に応じホースを接続する

• タンクの吸込口に、付属のホースを接続します。

(P.17「ホースの接続」参照)



• 付属のアダプタと必要に応じて別売部品の集じんアダプタやジョイントで、ホースを電動工具へ接続します。

(P.17「ホースの接続」参照)

(P.18「電動工具との接続」参照)



この集じん機は床などを掃除する単動運転と、電動工具の粉じんを吸引する連動運転で以降の操作が異なります。それぞれの工程を確認してください。

無線連動…… P.28 **4**へ続く

AC 連 動…… P.29 **4**へ続く

単動運転…… P.30 **4**へ続く

**注** • 本製品はメモリー機能を備えています。

電源スイッチを「OFF」にした後、次に「ON」にすると、連動 / 単動スイッチおよび強弱切替スイッチは「OFF」にしたときの状態で復帰します。

• 「無線連動」「AC 連動」モードのときは、ホース内の粉じんを吸い込むため、電動工具のスイッチを切った後も機体は数秒間運転してから停止します。

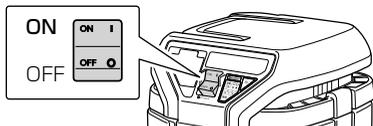
## 無線連動

### 4 電源プラグをコンセントにさし込む

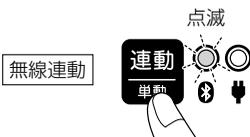
このとき電源スイッチが「OFF」の状態であることを確認してください。

### 5 電源スイッチを「ON」側に押す

電源スイッチ



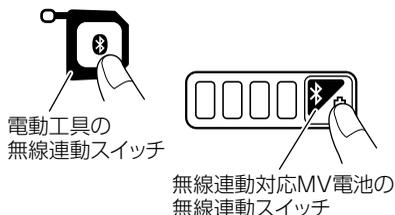
### 6 連動 / 単動スイッチを押し「連動」を選択する



### 7 用途により強弱切替スイッチで吸込力を選択する



### 8 電動工具側の無線連動スイッチを押して接続（ペアリング）する

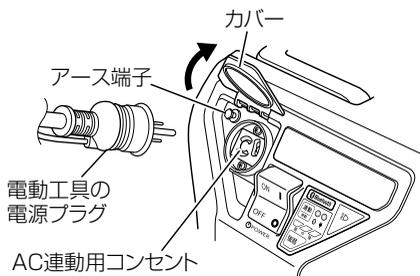


(P.23「無線連動機能について」参照)

### 9 電動工具を ON / OFF して連動運転

## 4 AC 連動用コンセントに接続する

- 電動工具の電源プラグをさし込み、右に回して抜け止めをかけます。
- アースクリップ付 2P 電源プラグの場合は、アースクリップをアース端子に接続してください。  
(P.21「AC 連動用コンセント」参照)



## 7 連動 / 単動スイッチを押し「連動」を選択する



## 8 用途および接続する電動工具の消費電力により強弱切替スイッチで吸込口を選択する



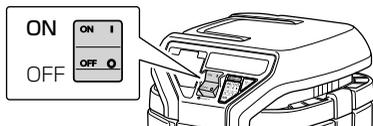
## 5 電源プラグをコンセントにさし込む

このとき、本機と連動する電動工具の電源スイッチは「OFF」の状態であることを確認する。

## 9 電動工具を ON / OFF して連動運転

## 6 電源スイッチを「ON」側に押す

電源スイッチ

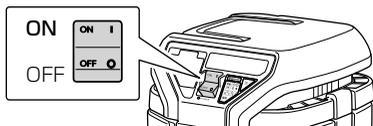


## 4 電源プラグをコンセントにさし込む

このとき電源スイッチが「OFF」の状態であることを確認してください。

## 5 電源スイッチを「ON」側に押す

電源スイッチ



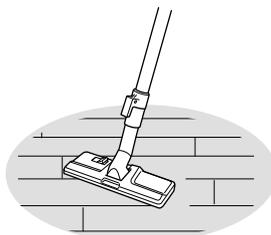
## 6 連動 / 単動スイッチを押し「単動」を選択する



## 7 用途により強弱切替スイッチで吸込力を選択する



## 8 床などの掃除をする



# フィルタのちり落とし

## RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合

### ⚠ 警告

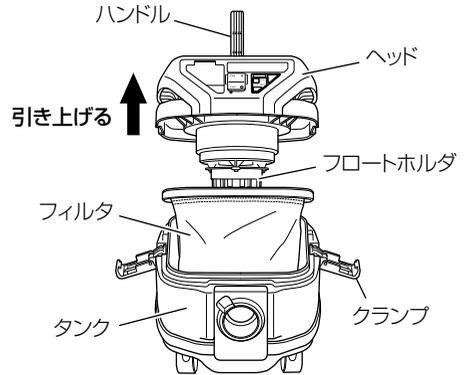
- 電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

### ⚠ 注意

粉じんが満杯になっていると吸込力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に、粉じんは早めに捨ててください。

運転中に吸込力が低下した場合、フィルタのちり落としをしてください。

- 1** クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。
- 2** フィルタがタンクに組み込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。吸込力が回復します。
- 3** ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。



## RP 80YD(S)、RP 150YD(S) の場合

電源スイッチを「OFF」にするたびに、ちり落としされる機構となっています。

作業途中で吸い込みが悪くなったときは、一度電源スイッチを「OFF」にしてください。

再度作業を開始しても吸い込みが回復しないときは、粉じんが一杯になっていますので、P.33「粉じん(水)を捨てる」の手順に従って粉じんを捨ててください。

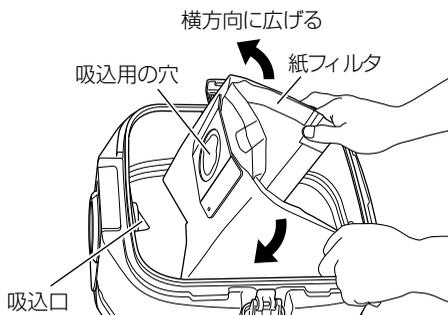
# 紙フィルタ（別売部品）の取付け

## 警告

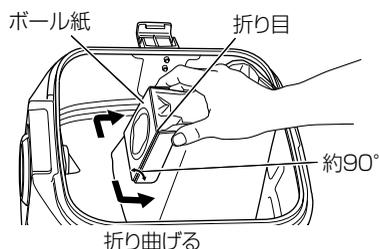
- 電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 紙フィルタを使用するときは、付属の布フィルタと併用してください。（乾式：RP 80YD(S)、RP 150YD(S)の場合、付属の粉じん用フィルタとプレフィルタを併用してください。）紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

- 注**
- 紙フィルタ使用時は、水などの液体や、湿った粉じんを吸わせないでください。破ける原因になります。
  - フィルタダンパは使用しないでください。使用すると集じん容量が少なくなります。（乾式：RP80YD(S)、RP150YD(S)）

- 1** 紙フィルタの吸込用の穴がタンクの上側になるよう、紙フィルタを横方向に広げます。

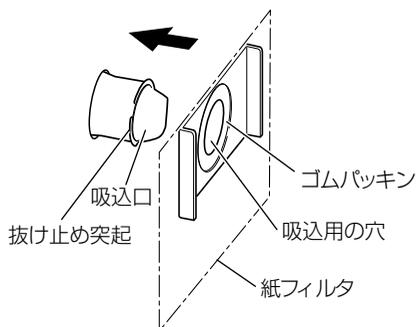


- 2** 機体に装着する前に、ボール紙に付いている2か所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます。



- 3** 紙フィルタの吸込用の穴を機体の吸込口に合わせます。

右図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。



# 粉じん(水)を捨てる

## ⚠警告

- 電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 乾湿両用の場合、タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーターが故障の原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

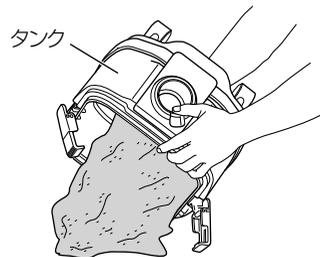
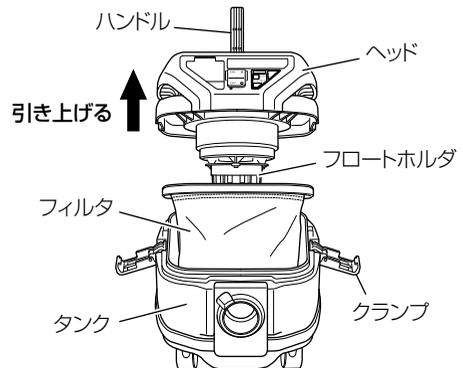
## ⚠注意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。  
変形、破損の原因になります。
- 使用後は毎回、粉じんを捨てるようにして、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。  
吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。  
クランプが破損の原因になります。

- 注** ●粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。  
ポリ袋が破れる原因になります。
- ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。  
ポリ袋が破れる原因になります。
  - ヘッドやタンクに付属品(パイプ、吸口等)をさし込んだまま機体を倒さないでください。  
各部の破損の原因になります。

## RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合

- 1** クランプ(2個)をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。
- 2** フィルタの内側面を数回軽くたたいて、フィルタに付着した粉じんを落とします。  
次にタンクからフィルタとフィルタケースを取りはずします。
- 3** タンクを倒し、粉じんを捨てます。
- 4** フィルタ、フィルタケース、ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。



## RP 80YD(S)、RP 150YD(S) の場合

**1** クランプ (2 個) をはずして、ハンドルを上方へ引き上げ、ヘッドを取りはずします。

**2** 粉じん用フィルタを取り出し後、プレフィルタの内側面を数回軽くたたいて、付着した粉じんを落とします。

次にタンクからプレフィルタを取り出します。

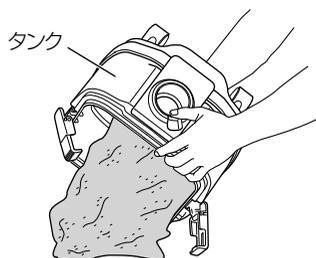
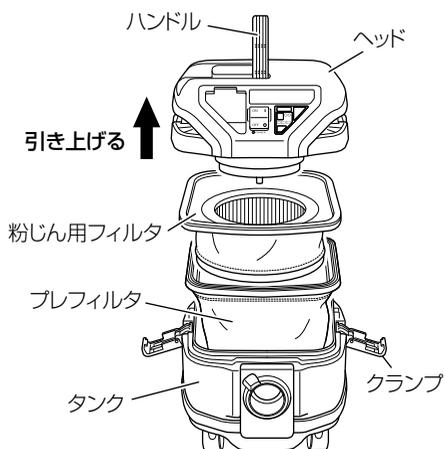
**3** タンクを倒し、粉じんを捨てます。

**4** 粉じん用フィルタ、プレフィルタを取付けます。

次に、ヘッド、クランプを元の位置に取付けてください。

(P.13「ポリ袋の取付け」参照)

(P.15「フィルタの取付け・確認」参照)



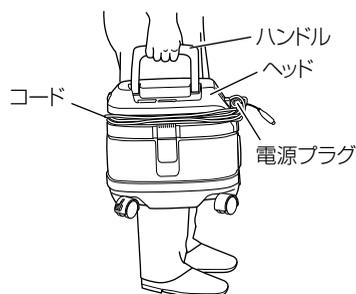
# 運搬・収納

## ● ハンドルの使い方・電源コードの収納方法

運搬・移動する場合は、右図のようにヘッド部のハンドルを持って行きます。ハンドルを使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

コードはヘッド下部に巻き付けて収納できます。巻き付けたコードの内側に電源プラグを引っ掛けてください。

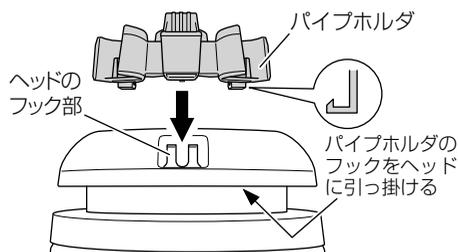
機体を運転する場合は、巻き付けたコードをすべてほどいてください。



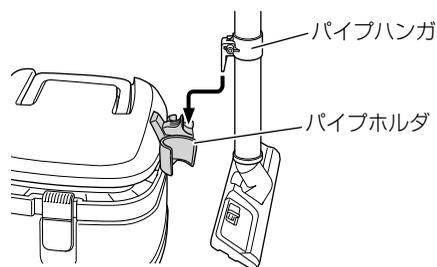
## ● パイプホルダを使って収納する

RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合のみ

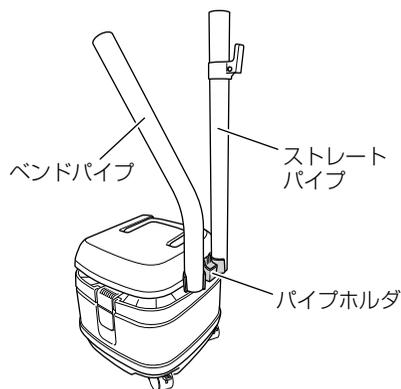
- 1 付属のパイプホルダを図のようにしてフック部に取付けます。



- 2 掃除の途中で作業を中断するときは、パイプハンガをパイプホルダに引っ掛けてください。



**3** 機体を収納するときは、図のようにパイプをパイプホルダにさし込むとコンパクトに収納できます。



## ●ホースの収納

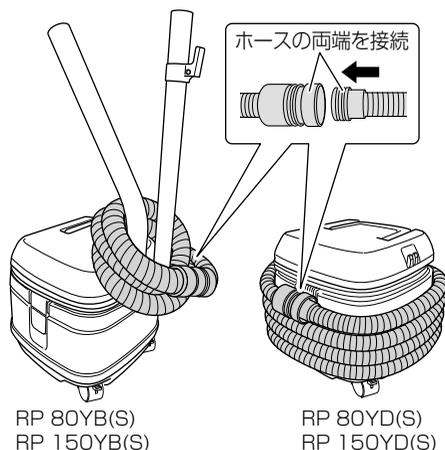
ホースは右図のように両端を接続して、収納できます。

RP 80YB(S)、RP 150YB(S)

・内径φ38×長さ2 m

RP 80YD(S)、RP 150YD(S)

・内径φ28×長さ5 m



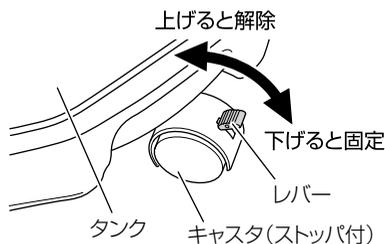
## ●キャストの固定・解除

キャスト(ストッパ付)のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。

機体を収納しておく場合、あるいは掃除の途中で作業を中断する場合、キャストを固定すると機体の動き止めができて便利です。

**注** 機体を移動する場合は、キャストの固定が解除されていることを確認してください。

キャストの破損の原因になります。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。  
感電やけがの原因になります。
- 粉じんが舞い上がることがありますので、防じんマスク、保護メガネを使用してください。

- 注** ●各フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
- 各フィルタは定期的に点検し、破れ、穴がある場合は、交換してください。  
そのまま使用すると、機体損傷の原因になります。

## ●フィルタの手入れ

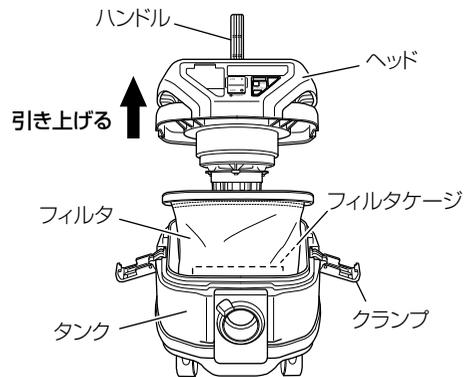
### RP 80YB(S)、RP 150YB(S) の場合

フィルタが目詰まりしますと、吸込力が著しく低下しますので、フィルタに付着した粉じんは、こまめに取り除いてください。

ちり落としの仕方は、フィルタケースを持って、布フィルタを軽くたたきます。

水にぬれた布フィルタで粉じんを吸引すると、すぐ目詰まりして吸引力が低下します。

布フィルタは、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。



## RP 80YD(S)、RP 150YD(S) の場合

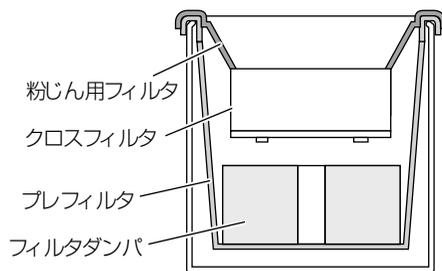
粉じん用フィルタ、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパが目詰まりすると、吸込力が著しく低下しますので、付着した粉じんは、こまめに取り除いてください。

① ちり落としは、プレフィルタ、クロスフィルタ、フィルタダンパを手で軽くたたきます。圧縮空気を吹きかけると簡単に行えます。

② 粉じん用フィルタはブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をします。

粉じん用フィルタは定期的(1～2か月に1回以上)に水洗いによる清掃を行い粉じん除去してください。

なお、水洗い後は、陰干しして十分乾燥させてから使用してください。



ブラシ等により、粉じんをかき落としてください。



**注** • プレフィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたき程度にしてください。

ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

• 粉じん用フィルタは、たたきつけたりしないでください。

樹脂部が割れる原因になります。



水を流し、粉じんを洗い落としてください。

## ● モーターの取扱いについて

モーターに、油および水をつけないよう十分注意してください。

## ● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

## ● 清掃する

石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類は変形の原因になるので使用しないでください。

## ● 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
  - 軒先など雨がかかる場所、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

状況	原因	対策
モーターは回転する 吸込力が弱い または 吸い込まない	タンク内で粉じん、または水が満杯になっている	タンク内の粉じん、または水を捨ててください。その後、各々のフィルタに付着した粉じんを落としてください。
	フィルタが目詰まりしている	各々のフィルタに付着した粉じんを落としてください。
	フィルタが付いていない (セットされていない)	フィルタが正しくセットされているか確認してください。(P.15「フィルタの取付け・確認」参照) 乾式品は3種類のフィルタが付いているか確認してください。
	ポリ袋が誤って取付けている	ポリ袋を正しく取付け直してください。 (P.13「ポリ袋の取付け」参照) ※ポリ袋なしでも使用できます。
	ホース内部や吸込口に粉じんや異物が詰まっている	ホース内部や吸込口の粉じん、異物を取り除いてください。
モーターの排気風が異常に高温になる	ホースがつぶれている、あるいは折れている	ホースの状態を確認してください。
	[乾湿両用品の場合] 振動(転倒、上下動、落下など)が加わり、フロートが作動した	一度運転を止めて約10秒後に再起動してください。
モーターが回転しない 電源スイッチを入れてもモーターが回転しない	「連動」モードになっている	連動/単動スイッチで「単動」モードにしてください。
	電源プラグの接触不良	接触状態を確認してください。
AC連動しない 接続した電動工具は作動する	「単動」モードになっている。	連動/単動スイッチで「連動」モードにしてください。
	接続した電動工具の消費電力が100Wより少ない。	消費電力が100Wより少ない電動工具は連動操作ができません。
無線連動接続ができない もしくは接続が途切れる	電動工具との接続ができていない	電動工具の取扱説明書も良くお読みになり、正しく接続してください。 なお、休憩後など続けて使用する場合でも、再度接続が必要になる場合があります。
	近くにある無線LANなど電波を発する機器の影響を受けている	影響のある機器と本製品を遠ざけてください。
	電動工具が本製品からはなれすぎている	電動工具を本製品に近づけてください。
	指定以外の機器を接続しようとした	弊社指定の電動工具と接続してください。 無線連動機能のない電動工具をお使いの場合は、無線連動機能付きのMV電池を使用して、接続してください。
	既に接続中の機器がある	同時に2台以上の接続はできません。 使用する1台を選び接続してください。
	電動工具と本製品の間に障害物がある	障害物を取り除いてください。





# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ  
お問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理  
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00	
●フリーダイヤル  <b>0120-20-8822</b>	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待たせする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認い  
ただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>